

高等部第*学年 数学科学習指導案

日時	令和5年**月**日 9:40～10:30		場所	高等部*年*組教室
指導者	本田 拓也(T1)、** ***(T2)			
単元名	「目指せ! 買い物名人!」			
本単元の目標	・割引の意味を理解するとともに、正しい割引の計算について理解し、指定された割引に合わせてお金の計算をすることができる。 (知識及び技能)〈高等部I段階〉 ・予算内で、複数の商品を選んだり、効果的に割引カードを使ったりして計算をし、買い物をすることができる。 (思考力、判断力、表現力等)〈高等部I段階〉 ・数量について進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことの良さに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする。 (学びに向かう力、人間性等)〈高等部I段階〉			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	・割引の意味を理解するとともに、正しい割引の計算について理解している。 ・指定された割引に合わせてお金の計算をしている。	・予算内で、複数の商品を選んだり、効果的に割引カードを使ったりして計算をし、買い物をしている。	・数量について進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、買い物をよりお買い得に行うことの良さに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとしている。	
単元設定の理由	本グループは、高等部*年生職業基礎コースの生徒6名(男子2名、女子4名)で構成されている。本コースは社会生活や職業生活に必要な基礎的な知識・技能・態度の習得や能力の向上を目標としており、多くの生徒が一般就労を進路希望としている。普段の授業において、教師の指示を理解し、学習活動に取り組むことができている。気持ちの浮き沈みで、授業に集中することが難しい生徒もいるが、個別に言葉をかけたり、個別のプリントを用意したりすることで学習に取り組むことができる。また、6名中3名は私生活において、自分一人で買い物をしている。数学科に関する実態として、計算に関しては、繰り上がりや繰り下がりのある3桁の数を含む四則計算を筆算で行うことができ、3桁以上の数に対しては、電卓を使って計算することもできている。お金の計算については、お金の等価関係を理解し、商品に対して購入できるように金額を支払い、おつりの計算を行うことができている。また、「〇円引き」、「〇個購入」、「半額」、「〇〇を合わせた」など、キーワードに合った四則を選んで計算をすることもできるようになってきた。また、高額な商品に対しても、お札と硬貨を組み合わせ、商品を購入することができるようになってきた。しかし千円台の商品に対しても、おつりのことは考えずに5千円札や1万円札を使って、支払いをする生徒もいる。また、経済的なことを考え、より安く、お買い得に買い物をしようしたり、買い物しながら計算し、予算を考えて買い物をしようしたりする意識は少ない。 特別支援学校高等部学習指導要領解説の数学の目標に、「数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。」とある。さらに、I段階 A 数と計算のAでは、「整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数及び分数の計算についての意味や性質について理解し、それらを計算する技能を身につけるようにする。」とある。本単元では、前単元の復習から始め、指定された割引率に合わせて、立式・計算をする。そして、予算を配布し、予算ができるだけ余らないように複数の商品を選び、計算をする。これらの学習が定着することによって、お金に関して興味をもったり、買い物の際、予算に応じた買い物ができるように計算をしたりする力が身につく、日常生活や就労の際にも活用できることが期待できる。 指導に当たっては、パワーポイントのアニメーションを活用したり、ゲーム感覚で行う学習場面を設定したりすることで、意欲的に学習に取り組めるようにする。また、導入で前時の復習を行うことで、既習内容			

からどう発展したか違いを分かりやすくする。「お買い得!割引ゲーム」では、指定された商品カードと割引カードを引き、商品カードに対してどの割引カードを使えば割引率が大きくなるか考え、計算できるようにする。割引率に対しての計算方法につまずくときは、割引率カードを配布し、計算できるようにする。割引率の確認を行ってから展開の「買い物をしよう」に段階的に入っていくことで、割引の計算の仕方を理解し、買い物の際に活かせるようにする。展開では、2チームに分かれて、それぞれ予算に合わせて、商品を選び買い物をする。その際に、買い物シートに選んだ商品、個数、割引率、合計を記入できるようにし、計算しやすいようにする。また、計算を行いやすくするように、電卓の使い方を一緒に学習できる機会を設定する。さらに、楽しく意欲をもって学習できるように、生徒に積極的に話しかけながら、気軽に質問できるような環境作りをしたり、できた取組に対しては大いに称賛したりするようにする。今回、チームで話し合いながら、商品を選んだり、割引カードの組み合わせを考えたりできる場を設定することで、買い物の計算に対しての興味・関心をもったり、自分の力でできたことやできなかったことに気付き、次時の学習や日常生活へつながったりできるようにする。本時の学習が生徒にとって主体的・対話的で深い学びとなるようにしたい。 今回のような学習を通して、正しい割引の計算をする技能や効率よく買い物をする力の育成を図る。お金や割引を数学的に捉え、予算内で買い物をする力を日常生活の中や就労にも生かすことができると考え、本単元を設定した。				
単元の指導計画 (5時間扱い) 本時は第4時	次	時	学習内容・活動	評価規準・評価方法
	1 「割引について知ろう!」	1 「割引の仕方を知ろう」	割引の意味と割引率の計算方法を理解し、計算する。	割引率を理解し、割引に合わせた計算をしている。 (知識・技能) [観察・ワークシート]
		2 「お買い得!割引ゲームをしよう」	商品カードに対して割引カードを合わせて立式し、計算する。	商品カードと割引カードを合わせて、正しく立式し、計算をしている。 (知識・技能) [発表・計算ボード]
	2 「買い物をしよう!」	3,4(本時) 「買い物大会をしよう①」	予算内で、複数商品を選んだり、効果的に割引カードを使ったりして、買い物の計算をする。	決められた予算内で、割引カードを使いながら複数商品を選び、予算内に収まるように買い物の計算をしている。 (思考・判断・表現) [買い物計算簿・コインケースの残金]
		5 「買い物大会をしよう②」	高額商品に対して、予算内で、複数商品を選んだり、効果的に割引カードを使ったりして、買い物の計算をする。	予算に合わせて計算したり、効率的に割引を使って買い物の計算することが生活の中でどう活かすことができるか考えて、記入しようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) [発表・ワークシート]

〔本時の指導〕

Ⅰ 本時の目標

「予算内で割引カードを使い、残金が少なくなるように買い物の計算ができる。」

【思考力、判断力、表現力等】

2 生徒の実態及び個別目標

① お金の計算について

◎キーワードに合った四則を選んで、お金の計算をすることができる。

○ヒントカードを見ながら、キーワードに合った四則を選んで、お金の計算をすることができる。

② おつりが生じるお金の支払いについて

◎紙幣と硬貨を組み合わせ、商品の 1 円の位を繰り上げた金額支払うことができる。

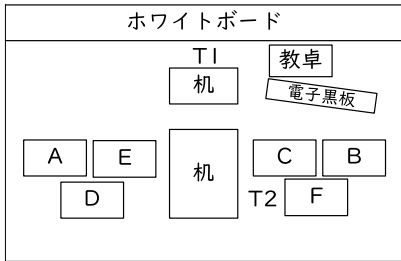
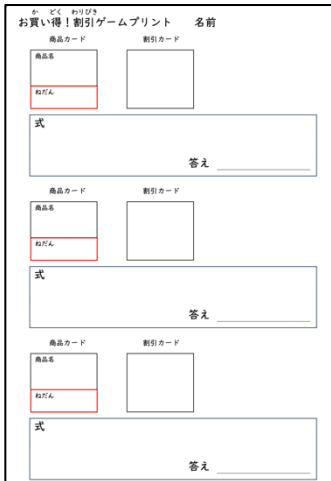
○紙幣と硬貨を組み合わせ、商品の 10 円の位を繰り上げた金額支払うことができる。

△紙幣と硬貨を組み合わせ、商品を購入できるように支払うことができる。

生徒	生徒の実態		個別目標	自立活動の目標
	①	②		
A	◎	◎	・残ったお金でもう一つ商品を購入できるか計算することができる。 (思考力、判断力、表現力等)	
B	◎	○	・予算内で買い物ができるように、どの割引カードを使うか考えて計算することができる。 (思考力、判断力、表現力等)	
C	○	○	・二つの割引カードの中から、割引額が大きい方を選んで、買い物の計算をすることができる。 (思考力、判断力、表現力等)	場面や相手に応じて、言葉や言い方を考え、必要なことを相手に伝えることができる。
D	◎	△	・買い物のあとの財布の残金が 10 円台になるように、買い物の計算をすることができる。 (思考力、判断力、表現力等)	
E	◎	○	・予算内で買い物ができるように、複数の商品を選んで買い物の計算をすることができる。 (思考力、判断力、表現力等)	
F	○	△	・買い物の際、購入するものや割引率を買い物計算簿に記入し、計算をすることができる。 (思考力、判断力、表現力等)	

3 展開

※形態の表記は 全体:全、グループ:グ、個別:個

形態 時間 (分)	主な学習活動・内容 (必要に応じて配置図等を入れる)	指導の手立て(各Tの役割等)※評価は□で囲む
全 (1)	1 始めの挨拶をする。  【図1 座席配置図】	・T1は、姿勢を正すように生徒に言葉かけを行うことで、正しい姿勢を意識して挨拶をすることができるようにする。 ・T2は、後方から姿勢を確認し、姿勢が整っていない生徒には言葉かけを行う。 ・机上で活動がしやすいように、鉛筆と消しゴム以外は机上に置かないように言葉かけを行う。 ・机は生徒同士向かい合わせて配置するので、前で話すときは視線を前に向くように言葉かけを行う。
全 (4)	2 本時の目標と学習内容を確認する。 〈本時の学習内容〉 ①お買い得!割引ゲーム ②買い物しよう! ③振り返り・まとめ 〈本時の目標〉 ○予算内で割引カードを使い、残金が少なくなるように計算できる。	・見通しをもって学習を進めることができるように、ホワイトボードに学習の流れを提示する。 ・授業の説明にはモニターを使用し、アニメーションを用いて説明する。 ・前時に学習した内容を確認し、本時も同様の活動を通して、買い物学習について考えて活動することを伝えて、生徒が本時の学習に見通しをもつことができるようにする。 ・個人の目標はワークシート内に記載し、いつでも確認できるようにする。
個 (5)	3 「お買い得!割引ゲーム」をする。 (1)ケース①から商品カードを3枚引く。 (2)ケース②から割引カードを3枚引く。 (3)どの商品にどの割引カードを充てるか考え、計算する。  【図2 商品カードと割引カード】  【図3 お買い得!割引ゲームプリント】	・割引率に合った計算を行う際、支援が必要な生徒の机には割引率シートを配布し、計算しやすいようにする。 ・計算の際は電卓を用いるように説明し、使い方がわからない場合はT2と一緒に操作をする。 ・個別プリントを用意し、早く終わった生徒はプリント学習できるようにする。 ・全員で確認することで、これまで学習してきたことが習得できているか確認する。

全・グ
(30)

4 買い物大会をする。

- (1)カレーチームと焼きそばチームに分かれる。
- (2)3000円の予算でチーム名の料理ができるように買い物をする。
- (3)商品にクーポンシートを使うか話し合う。
- (4)クーポンシートを使う場合は全員が計算をし、合っているか確認する。
- (5)確認後、買い物計算簿に記入する。
- (6)チームごとに合計金額を発表する。

目指せ！買い物名人！個人目標 名前

残ったお金でもう一つ商品を買うことができるか考える。

自己評価はどうじゃ？
◎ ○ △

買い物計算簿 予算 円

商品名	値段	割引カード	割引後の値段	残金

メモ おつり

【図4 個人目標と買い物計算簿】

クーポンシート

野菜に 使える！ 	50% OFF	使用済 ☐
※11/30まで有効		
野菜に 使える！ 	20% OFF	使用済 ☐
※11/30まで有効		
精肉 魚介類に 使える！ 	30% OFF	使用済 ☐
※11/30まで有効		
精肉 魚介類に 使える！ 	20% OFF	使用済 ☐
※11/30まで有効		
なんでも 使える！	10% OFF	使用済 ☐
※11/30まで有効		
なんでも 使える！	10% OFF	使用済 ☐
※11/30まで有効		

【図5 クーポンシート】

- ・実際の買い物場面を想定できるように買い物がごと商品
は具体物を用意し、買い物できるようにする。
- ・モニターには、買い物のルールと話合いのポイントを映し
ておき、円滑な話し合いができるようにする。
- ・買い物計算簿に記入しながら計算を行うことで、どの商
品に割引カードを使うのか、また残りの予算が分かりやす
いようにする。
- ・実際に紙幣を使って支払いを行うことで、実生活に即した
体験をできるようにする。
- ・拡大した買い物計算簿は、計算確認後、教師が記入し、
買い物終了後にホワイトボードに掲示することでチームご
とに比較できるようにする。

A 残ったお金でもう一つ商品を購入できるか計算を
している。

(思考・判断・表現)【発表・買い物計算簿】

B 予算内で買い物ができるように、どの割引カード
を使うか考えて計算をしている。

(思考・判断・表現)【発表・買い物計算簿】

C 二つの割引カードの中から、割引額が大きい方を
選んで、買い物の計算をしている。

(思考・判断・表現)【クーポンシート・買い物計算簿】

D 買い物のあとの財布の残金が10円台になるよう
に、買い物の計算をしている。

(思考・判断・表現)【発表・買い物計算簿】

E 予算内で買い物ができるように、複数の商品を選
んで買い物の計算をしている。

(思考・判断・表現)【発表・買い物計算簿】

F 買い物の際、購入するものや割引率を買い物計算
簿に記入し、計算をしている。

(思考・判断・表現)【発表・買い物計算簿】

予算内で割引カードを使い、残金が少なくなるように
買い物の計算をしている。

(思考・判断・表現)【財布の中身・買い物計算簿】

全 (4)	5 本時の振り返りをする。	・T1 は拡大した買い物計算簿を見ながら、全体目標と個人目標が達成できたか確認できるようにする。 ・視覚的に確認できるように、拡大した買い物計算簿にチェックや丸、キーワードを書くことで生徒が自ら評価できるようにする。
全 (1)	6 終わりの挨拶をする。	・おつりカウンターの横に、「完」を書き、達成感を味わえるようにする。 ・T1は、姿勢を正すように促すことで正しい姿勢を意識して挨拶をすることができるようにする。

【板書計画】

数学

本時の学習内容

①お買い得！割引ゲーム
 ②買い物をしよう！
 ③振り返り・まとめ

本時の目標

予算内で割引カードを使い、残りのお金が少なくなるように買い物の計算ができる。

商品カード

割引カード

商品カード

割引カード

商品カード

割引カード

買い物計算簿

予算

円

商品名	数量	割引カード	割引後の金額	残高

メモ

おつり

買い物計算簿

予算

円

商品名	数量	割引カード	割引後の金額	残高

メモ

おつり

買い物計算簿

モニター